

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 九州財務局長

【提出日】 平成24年11月13日

【四半期会計期間】 第34期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社ヒガシマル

【英訳名】 HIGASHIMARU CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 東 紘一郎

【本店の所在の場所】 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

【電話番号】 099-273-3859 (代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 木通 昌生

【最寄りの連絡場所】 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

【電話番号】 099-273-3859 (代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 木通 昌生

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期 連結累計期間	第34期 第2四半期 連結累計期間	第33期	
			自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	
売上高 (千円)	4,723,153	3,857,228	8,686,328	
経常利益又は経常損失() (千円)	66,887	134,889	13,369	
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (千円)	18,158	124,717	148,392	
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,055	111,965	331,594	
純資産額 (千円)	4,146,279	4,548,141	4,473,817	
総資産額 (千円)	9,712,081	11,344,221	8,422,167	
1株当たり四半期(当期) 純利益又は四半期純損失() (円)	3.86	26.51	31.54	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)				
自己資本比率 (%)	42.7	40.1	53.1	
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	224,888	461,242	585,654	
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	302,070	1,495,460	468,138	
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	28,820	2,640,358	674,338	
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	564,810	1,523,472	840,863	

回次	第33期 第2四半期 連結会計期間	第34期 第2四半期 連結会計期間	第33期	
			自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日		
1株当たり四半期純利益 (円)	1.56	19.81		

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第34期第2四半期連結累計期間及び第33期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 第33期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社、以下同じ。）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、各セグメントに係る主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（食品事業）

当社が全株式を取得したコスモ食品株式会社及び同社の子会社であるコスモファーム株式会社、コスモ食品研究株式会社、イワキフーズ株式会社、津軽和漢堂株式会社、弘前屋株式会社が連結子会社となりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

コスモ食品株式会社の株式取得及び子会社化

当社は、平成24年7月17日開催の取締役会において、コスモ食品株式会社の株式取得及び子会社化について決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。詳細は、「第4 経理の状況」「1 四半期連結財務諸表」「注記事項」（企業結合等関係）に記載のとおりであります。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果を支えとして、国内需要を中心に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の減速、長期化する円高の影響などから、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場動向を見極めながら、顧客のニーズ対応や提案など販売力の強化に努めるとともに、全社的な経費削減の取り組み、生産効率及び品質向上に努力してまいりました。一方、不採算続きであった海外子会社HIGASHIMARU VIETNAM CO., LTDの清算を進め、また、本年7月31日にコスモ食品株式会社の子会社化（株式取得）により、事業領域拡充や新商品開発などグループ経営の効率化及びシナジー創出を図り、将来の更なる成長と企業価値向上を目指すなど積極的に取り組んでまいりました。

なお、コスモ食品株式会社及びその子会社につきましては、当第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）を支配獲得日とみなして処理しているため、同社の業績は当第2四半期連結累計期間に含まれておりません。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は38億57百万円と前年同四半期と比べ8億65百万円（18.3%）の減収、営業利益は1億21百万円と前年同四半期と比べ2百万円（2.2%）の増益、経常利益は1億34百万円と前年同四半期と比べ68百万円（101.7%）の増益、四半期純利益は1億24百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産事業

水産事業におきましては、当社が主原料とする輸入魚粉価格のマーケットは高止まりで推移しており、また、国内の魚価低迷が続き養殖経営を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。

このような環境の下、安定した養殖環境にあったエビ飼料類及び養殖稚魚等の販売は伸びましたが、ハマチ飼料類は大口取引先及び受託生産の取引が販売価格競争により大幅ダウンとなるなど、魚類関連飼料の販売が減少しました。

その結果、売上高は30億71百万円と前年同四半期と比べ7億48百万円（19.6%）の減収となりましたが、セグメント利益は2億44百万円と前年同四半期と比べ1億53百万円（168.0%）の増益となりました。

食品事業

食品事業におきましては、競合他社の生産能力が過剰な状況にあることから価格競争が一段と増してきており、今後も厳しい事業環境が続くものと思われま

す。このような環境の下、差別化商品の開発に力を入れ、今年4月に「海鮮皿うどん」、「ラー麺サラダ」、「つけ麺魚介豚骨」を発売したのに続き、7月に「白ちゃんぽん白味噌風味」、「もやしと豚肉あんかけ揚げめん」、「かに玉風あんかけ揚げめん」を発売いたしました。が、昨年の震災後の特殊需要がなくなった関係から即席めん類が減少したほか、プライベートブランド商品の皿うどん類などが減少しました。

その結果、売上高は7億85百万円と前年同四半期と比べ1億17百万円(13.0%)の減収となり、セグメント利益は156千円と前年同四半期と比べ87百万円(99.8%)の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ29億22百万円増加し、113億44百万円となりました。これは、主として現金及び預金が7億9百万円、受取手形及び売掛金が10億17百万円、有形固定資産が4億32百万円増加したことに加え、コスモ食品株式会社を子会社化(株式取得)したことにより、のれんが4億81百万円発生したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ28億47百万円増加し、67億96百万円となりました。これは、主として買掛金が4億32百万円増加したほか、コスモ食品株式会社の子会社化(株式取得)に要した資金調達の関係から、短期借入金が14億72百万円、長期借入金が11億98百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ74百万円増加し、45億48百万円となりました。これは、主として利益剰余金が87百万円増加したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間と比べ9億58百万円増加し、15億23百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって支出した資金は4億61百万円(前年同四半期は2億24百万円の支出)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億34百万円、減価償却費1億38百万円、たな卸資産の増減額74百万円、仕入債務の増減額3億20百万円などの資金を獲得した一方で、役員退職慰労引当金の増減額68百万円、売上債権の増減額8億89百万円、法人税等の支払額39百万円、その他1億31百万円などの資金の減少要因があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって支出した資金は14億95百万円(前年同四半期は3億2百万円の収入)となりました。

主な要因は、定期預金の払戻による収入が6百万円、その他の収入が36百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が33百万円、有形固定資産の取得による支出が1億41百万円、投資有価証券の取得による支出が13百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が13億49百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は26億40百万円(前年同四半期は28百万円の収入)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出1億42百万円及び配当金の支払額37百万円がありましたが、短期借入金の増減額28億20百万円の資金の増加があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間のグループ全体の研究開発費の総額は81百万円であります。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、食品事業の従業員数が54名増加しております。これは、主としてコスモ食品株式会社の子会社化によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の従業員数は、次のとおりであります。

セグメントの名称	従業員数(名)
水産事業	116
食品事業	128
全社(共通)	15
合計	259

- (注) 1 従業員数は就業人員数であります。
2 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門に所属しているものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,900,000
計	17,900,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,746,000	4,746,000	福岡証券取引所	単元株式数は 100株であります。
計	4,746,000	4,746,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		4,746		603,900		393,400

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
東 紘一郎	鹿児島県日置市	628	13.23
東 勤	鹿児島県鹿児島市	575	12.11
東 実	鹿児島県日置市	575	12.11
東 吉太郎	鹿児島県日置市	527	11.10
東 久江	鹿児島県日置市	380	8.00
ヒガシマル共栄会	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地	201	4.23
株式会社鹿児島銀行	鹿児島県鹿児島市金生町6-6	165	3.47
鹿児島リース株式会社	鹿児島県鹿児島市山之口町1番10号	120	2.52
ヒガシマル従業員持株会	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地	84	1.77
エスト有限公司	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉887-1	82	1.72
計		3,337	70.31

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 40,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,705,000	47,050	
単元未満株式	普通株式 200		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	4,746,000		
総株主の議決権		47,050	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヒガシマル	鹿児島県日置市伊集院町 猪鹿倉20番地	40,800		40,800	0.85
計		40,800		40,800	0.85

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
専務取締役	常務取締役	東 実	平成24年6月27日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,240,330	1,949,978
受取手形及び売掛金	1,301,720	2,318,721
商品及び製品	354,830	429,275
仕掛品	69,089	75,740
原材料及び貯蔵品	744,884	703,213
その他	325,299	447,516
貸倒引当金	16,137	15,814
流動資産合計	4,020,018	5,908,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,127,582	1,262,933
機械装置及び運搬具（純額）	629,930	717,244
土地	1,763,746	1,969,084
その他（純額）	57,924	62,457
有形固定資産合計	3,579,184	4,011,721
無形固定資産		
のれん	-	481,545
その他	39,208	38,395
無形固定資産合計	39,208	519,940
投資その他の資産		
投資その他の資産	827,571	947,743
貸倒引当金	43,813	43,813
投資その他の資産合計	783,757	903,929
固定資産合計	4,402,149	5,435,591
資産合計	8,422,167	11,344,221

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,810	777,597
短期借入金	1,304,000	2,776,040
未払法人税等	40,176	15,130
賞与引当金	71,518	111,258
事業整理損失引当金	142,934	-
その他	522,082	461,843
流動負債合計	2,425,522	4,141,870
固定負債		
長期借入金	782,000	1,980,530
退職給付引当金	39,920	41,558
役員退職慰労引当金	446,416	378,184
その他	254,491	253,937
固定負債合計	1,522,827	2,654,209
負債合計	3,948,349	6,796,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,579,656	3,666,732
自己株式	28,938	28,938
株主資本合計	4,613,017	4,700,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,654	11,699
繰延ヘッジ損益	175,212	174,451
為替換算調整勘定	18,358	10,799
その他の包括利益累計額合計	139,199	151,952
純資産合計	4,473,817	4,548,141
負債純資産合計	8,422,167	11,344,221

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,723,153	3,857,228
売上原価	4,015,785	3,159,390
売上総利益	707,368	697,837
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	197,915	176,157
給料及び賞与	122,893	119,613
賞与引当金繰入額	1,809	33,245
役員退職慰労引当金繰入額	5,478	4,518
その他	260,272	242,706
販売費及び一般管理費合計	588,369	576,239
営業利益	118,998	121,597
営業外収益		
受取利息	366	164
受取配当金	2,074	1,791
為替差益	-	10,738
受取保険金	1,530	5,007
役員退職慰労引当金戻入額	40,943	-
雑収入	10,282	20,342
営業外収益合計	55,197	38,045
営業外費用		
支払利息	12,446	11,612
為替差損	93,283	-
雑損失	1,578	13,142
営業外費用合計	107,308	24,754
経常利益	66,887	134,889
特別利益		
投資有価証券売却益	851	-
補助金収入	6,285	-
特別利益合計	7,137	-
特別損失		
固定資産除却損	97	-
投資有価証券売却損	8	-
特別損失合計	105	-
税金等調整前四半期純利益	73,919	134,889
法人税、住民税及び事業税	73,263	9,320
法人税等調整額	18,814	850
法人税等合計	92,077	10,171
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	18,158	124,717
四半期純利益又は四半期純損失()	18,158	124,717

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	18,158	124,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,288	5,955
繰延ヘッジ損益	29,102	761
為替換算調整勘定	48,029	7,558
その他の包括利益合計	22,214	12,752
四半期包括利益	4,055	111,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,055	111,965
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,919	134,889
減価償却費	161,847	138,695
補助金収入	6,285	-
賞与引当金の増減額（は減少）	43,791	23,949
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	36,105	68,232
退職給付引当金の増減額（は減少）	1,398	1,637
固定資産除売却損益（は益）	97	-
投資有価証券売却損益（は益）	843	-
受取利息及び受取配当金	2,440	1,956
支払利息	12,446	11,612
為替差損益（は益）	47,073	5,519
売上債権の増減額（は増加）	1,356,574	889,102
たな卸資産の増減額（は増加）	204,260	74,260
仕入債務の増減額（は減少）	695,174	320,047
その他	59,781	131,716
小計	190,040	380,396
利息及び配当金の受取額	3,056	2,394
利息の支払額	13,122	12,259
法人税等の支払額	32,314	39,414
事業整理に伴う支出	-	31,568
その他の収入	7,531	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,888	461,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	309,066	33,039
定期預金の払戻による収入	712,552	6,001
有形固定資産の取得による支出	77,688	141,302
投資有価証券の取得による支出	16,934	13,974
投資有価証券の売却による収入	3,113	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	1,349,917
その他	9,904	36,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	302,070	1,495,460
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（は減少）	221,266	2,820,000
長期借入金の返済による支出	150,100	142,000
配当金の支払額	42,346	37,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,820	2,640,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,393	1,045
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	56,608	682,609
現金及び現金同等物の期首残高	508,201	840,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	564,810	1,523,472

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<p>連結の範囲の重要な変更</p> <p>当第2四半期連結会計期間から、コスモ食品株式会社の株式取得により、同社及びその子会社であるコスモファーム株式会社、コスモ食品研究株式会社、イワキフーズ株式会社、津軽和漢堂株式会社、弘前屋株式会社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。</p>

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<p>(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)</p> <p>当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	2,079千円	134,825千円

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し摂餌量が鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。

したがって、第2四半期連結累計期間及び第3四半期連結累計期間において売上高が大きく増加する傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金	809,276千円	1,949,978千円
預入期間が3か月を超える定期預金	244,466	426,505
現金及び現金同等物	564,810	1,523,472

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,346	9	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	37,641	8	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,819,467	903,686	4,723,153		4,723,153
セグメント利益	91,374	87,517	178,892	112,005	66,887

(注) 1 セグメント利益の調整額 112,005千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費82,201千円、営業外収益32,348千円、営業外費用62,151千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,071,327	785,901	3,857,228		3,857,228
セグメント利益	244,902	156	245,059	110,170	134,889

(注) 1 セグメント利益の調整額 110,170千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費104,160千円、営業外収益10,701千円、営業外費用16,712千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間にコスモ食品株式会社を連結子会社としたことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第2四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメントの資産の金額が2,378,105千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品事業」セグメントにおいて、コスモ食品株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが481,545千円発生しております。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 コスモ食品株式会社

事業の内容 カレールー・ジャム製造販売及び調味料製造販売

なお、被取得企業の株式取得に伴い同社の100%子会社であるコスモファーム株式会社、コスモ食品研究株式会社、イワキフーズ株式会社、津軽和漢堂株式会社及び弘前屋株式会社の5社についても当社の子会社となります。

企業結合を行った主な理由

当社にない商品の品揃え、新商品の拡充及び新規取引先の販路拡大による相乗効果を発揮することができ、食品事業における企業価値の向上を図るとともに、本件株式の取得により新たに加わる商品開発力及び販売チャネルは、より多くのお客さまに高付加価値の商品・サービスを提供していくという目的に資すると判断したことによるものであります。

企業結合日

平成24年7月31日

企業結合の法的形式

現金を対価とする全株式の取得

結合後企業の名称

名称の変更はありません

取得した議決権比率

100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が同社の議決権の100%を取得し支配を獲得するに至ったことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)を支配獲得日とみなして処理しているため、同社の業績は当第2四半期連結累計期間に含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	コスモ食品株式会社の普通株式	2,200,000千円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	111,510
取得原価		2,311,510

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん

481,545千円

発生原因

受け入れた資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額をのれんとして処理しております。

償却方法及び償却期間

10年間の定額法により償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	3円86銭	26円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失 ()(千円)	18,158	124,717
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失()(千円)	18,158	124,717
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,705	4,705

- (注) 1 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社ヒガシマル
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川 畑 秀 二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 只 隈 洋 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヒガシマルの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヒガシマル及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。